

目 次

序 文	(林 武)	iii
序 章	(豊田俊雄)	3
I 研究の趣旨とねらい		3
II 研究の概要		3
(1) 徒弟学校の成立の背景		3
(2) 徒弟学校の展開と実態		4
(3) 徒弟学校の変質など		6
第1章 徒弟学校の成立	(佐藤 守)	7
I 徒弟学校の前史		8
(1) 東京職工学校		8
(2) 東京工業学校付属職工徒弟学校		13
II 明治政府の殖産興業策		15
III 徒弟学校の成立		18
第2章 徒弟学校の実態	(佐藤 守)	31
A 仙台市徒弟実業学校	(佐藤 守)	33
I 学校設立の経過		33
II 学科課程		37
III 金工科の増設		37

IV	学校経営の概況	41
V	県立移管への動き	49
VI	工業学校への上昇	51
VII	市立仙台工業補習学校の併設	52
	あとがき	53
B	会津漆器徒弟学校	(羽田 新) 57
I	成立の背景と性格	57
II	実 態	65
III	工業学校への転換	75
C	瀬戸陶器学校	(山下英一) 77
I	瀬戸の略史と性格	77
II	瀬戸の地質・気象と陶器学校創立前後の人口	80
III	創立前後の時代的背景	80
IV	学校の創立と沿革	82
V	学校の性格	85
VI	学校の実態	88
VII	県立移管	114
VIII	陶磁器産業の近代化と卒業生の活躍	119
	むすび	121
D	南都留染織学校	(竹内常善) 123
	序論 郡内絹織物地帯の構造的特徴	123
I	学校の成立前史	130
II	学校の創立とその推進者	136
III	組織変更をめぐる諸動向	143
IV	入学者の社会的背景と卒業後の進路	151
V	教育者の社会的背景と軌跡	160
	結 論	165
E	別府学校組合立工業徒弟学校	(山岸治男) 170

I 学校創設の背景	170
II 学校沿革の概要	171
III 学校の実態	173
IV 小 括	211
第3章 徒弟学校の変質と展開 (佐藤 守)	215
I 工業学校への転換	215
(1) 仙台市徒弟実業学校	215
(2) 会津漆器徒弟学校	216
(3) 瀬戸陶器学校	217
(4) 南都留染織学校	217
(5) 別府学校組合立工業徒弟学校	218
II 実業教育制度の整備	221
(1) 明治前期における工業教育	221
(2) 実業教育制度の整備	224
III 徒弟学校の変容過程	227
(1) 前期徒弟学校	228
(2) 後期徒弟学校	234
第4章 工業教育と企業内熟練形成 (岩内亮一)	241
I 徒弟学校の変質とその背景	241
II 工業教育の成長とテクニカル・スタッフの供給	243
III 企業内技能教育の拡大と変容	251
IV 工業補習学校の未成熟と転換	256
結 章 途上国における実業教育振興と	
日本の経験 (豊田俊雄)	263
研究の成果(サマリー)	269
参考(図表と統計)	280